

製品安全性データシート

ビーエーエスエフ アグロ株式会社
〒106-0032 東京都港区六本木 1 丁目 4-30
六本木 25 森ビル 23 階
TEL: 03-3586-9714
FAX: 03-3586-9710
緊急連絡先: 03-3586-9719

作成年月日: 1998 年 11 月 10 日

整理番号 JIN09074-6

改正年月日: 2000 年 12 月 22 日

製品名 ゴーゴーサン乳剤 30

物質の特性	単一製品・混合物の区別 : 混合物																
化学名	N-(1-エチルプロピル)-3,4-ジメチル-2,6-ジニトロ アニリン																
一般名	ペンディメタリン																
分子式	$C_{13}H_{19}N_3O_4$																
分子量	281.3																
官報公示整理番号(安衛法)	ペンディメタリン; 4-(12)-561																
国連分類: 6.1	国連番号: 2903 等級:																
組成																	
	<table><thead><tr><th></th><th>CAS No.</th><th>%w/w</th><th>許容濃度</th></tr></thead><tbody><tr><td>ペンディメタリン</td><td>040487-42-1</td><td>32</td><td>6 mg/m³ (PRTR 第 1 種指定化学物質)</td></tr><tr><td>キシレン</td><td>001330-20-7</td><td>58</td><td>(PRTR 第 1 種指定化学物質) (安衛法名称等表示すべき有害物質)</td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td>10</td><td></td></tr></tbody></table>		CAS No.	%w/w	許容濃度	ペンディメタリン	040487-42-1	32	6 mg/m ³ (PRTR 第 1 種指定化学物質)	キシレン	001330-20-7	58	(PRTR 第 1 種指定化学物質) (安衛法名称等表示すべき有害物質)	その他		10	
	CAS No.	%w/w	許容濃度														
ペンディメタリン	040487-42-1	32	6 mg/m ³ (PRTR 第 1 種指定化学物質)														
キシレン	001330-20-7	58	(PRTR 第 1 種指定化学物質) (安衛法名称等表示すべき有害物質)														
その他		10															

危険有害性の分類	分類の名称: 引火性液体
	危険性: 引火性あり(危険物第 4 種第 2 石油類)
	有害性: 眼及び皮膚に対する刺激性あり
	環境に対する影響: 魚類及び植物に対する影響あり

応急措置	眼に入った場合: まぶたをよく開いて、多量の水で少なくとも 15 分間洗い流すこと。刺激が持続する場合医師の手当をうける。
	皮膚に付着した場合: 多量の石鹸水でよく洗う。刺激が持続する場合、医師の手当をうける。
	吸入した場合: 多量に吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動する。

飲み込んだ場合：吐かせてはいけない。ただちに多量の牛乳、卵白、ゼラチン液を飲ませる。もしこれらが無い場合には多量の水を飲ませる。アルコールはさける。医師の手当を受ける。

医師に対する注意事項：炭化水素化合物溶液（キシレン）は肺に吸入されることにより、化学性肺炎又は肺浮腫の危険性が增大するので、吐き出させる場合には必ず医師の監督下で行わなければならない。胃洗浄は粘膜を損傷する可能性があるため注意すること。その他は対症療法による。

過剰曝露による症状の悪化：本物質は刺激性及び脱脂性があるので、皮膚炎を起こしている場合には症状を悪化させることがある。

火災時の措置	引火点：	32.8 （タグ密閉式）
	気中の燃焼濃度（%，v/v）：	測定値なし
	発火点：	測定値なし
	分解点：	ペンディメタリン 220 キシレン 測定値なし
消火方法：		
消火剤：	水、アルコール泡消火剤、粉末消火剤又は炭酸ガス消化剤を使用する。	
消火対策：	自動式陽圧呼吸装置及び消火用防火服を着用する。 消火及び救出作業は火災現場の風上から行い、人が煙、蒸気又は汚染された物の表面に接触しないように遠ざけること。 人又は装置の汚染除去、又は破損段ボール箱もしくは容器の取り扱いは、曝露管理の項で特定した保護具を必ず着用する。 消火作業にあたった者は、火災現場を離れる前に汚染物質を石鹼及び水でよく洗い落とす。 火災現場より流出した水が、排水経路に流れ込まないように注意する。もし、排水経路に流れ込んだ場合は下流の関係機関に連し、助言する。 本物質は引火点から第4種第2石油類に分類される。保管場所は火気厳禁とする。 溶剤入りの密閉容器は熱又は火気にふれると爆発の危険性があるので、放水して冷却すること。	

漏出時の措置

適切な防護服および防護具を着用する（“曝露防止措置”を参照）。
排水系、地上水および地下水、および土壌の汚染を防止する。

流出物が広がるのを防ぐため、漏出した場所に土手を築き、粒状クレー又はおがくず等の不活性吸着剤を用いて吸着させた後シャベルですくいだすか又は拭き取り、適当な廃棄用容器に入れて密封する（“廃棄上の注意”を参照）。

漏出した場所、使用した道具及び器具は石けん水で数回洗浄する。洗浄液は不活性吸着剤に吸着させ、漏出物と同じ処理容器に入れる。少量の漏出物でも土壌が汚染された場合は、シャベルで直接土壌をすくい、処理容器に入れる。多量に漏出した場合には、サイアナミッド社に連絡し処理法を確認する。環境中への流出量によっては取締機関への通報が必要となる。

漏出物が河川に流出した場合、必要に応じ、ただちに下流の関係機関に通報する。

**取扱い及び
保管の注意：**

本物質は引火点から第4種第2石油類に分類される。

保管場所は火気厳禁とする。

食品または飼料の近くに保管しない。

反応性情報の項に示したような混合不可能な物質から隔離して保管する。

十分に換気のよい場所で使用すること。

**曝露防止/
対人対策**

曝露防止措置：

本薬剤の取り扱い時には、以下のような作業上の安全手段を採ることを奨める。

適切な局所換気装置をつけ、本剤の各成分が決められた許容曝露濃度(PEL)以下を維持するようにする。もし気中濃度が許容曝露濃度を超える場合には、農業用マスクを着用すること。

眼への曝露防止のため、薬品用ゴーグル又は眼に対する他の防具を必ず着用する。本薬剤を取り扱う場合にはゴム製手袋を着用すること。飛散が生じる可能性がある場合には、エプロン又は不浸透性のカバーを着用すること。

作業後は石けんと水で完全に洗浄する。薬剤で汚染した衣類は脱ぎ、次に使用する前までに洗濯しておく。

農業散布者へ；製品のラベルをよく読んで、防護用作業衣等を着用後使用して下さい。

物理的・化学的性質	外 観：	暗褐色澄明液体。キシレン臭。	
	沸 点：	> 140	
	融 点：	該当せず	
	比 重：	0.97 g/l (25)	
	揮発性：	あり(キシレン)	
	水に対する溶解度：	分散する	

安定性及び反応性情報	安定性：	安定	
	重合作用：	重合しない	
	混合不可能な物質：	酸化剤及び強アルカリ性物質	
	危険分解物質：	熱分解により炭素及び窒素酸化物が生成される可能性がある。	

有害性情報	急性毒性：		
	急性経口 LD ₅₀ 値 (mg/kg)：	ラット；	3366, 2681
		マウス；	3779, 2863
	経皮 LD ₅₀ 値 (mg/kg)：	ウサギ；	>4950
	皮膚一次刺激性 (ウサギ)：	刺激性なし	
	眼一次刺激性 (ウサギ)：	刺激性あり	
	皮膚感作性	：感作性なし	

環境影響情報	魚毒性：	コイ；	TLm = 3.2 ppm (48hr) (原体換算)
		ミジンコ；	TLm = 15.2 ppm (3hr) (原体換算)
	分解性：	容易に生物分解を受けない。土壌に中程度残留する可能性がある。	
	評価：	本最終製剤は魚及び植物に対して毒性を示す。しかし、ラベルの使用法に従って使用すれば魚及び植物に対する影響は非常に少ない。	

廃棄上の注意	登録された使用法にしたがい、本製品はすべて使用し、廃棄を避けること。止むを得ず廃棄する場合には、取り扱いに注意し、安全な方法で廃棄すること。
	空容器または段ボールに製品が付着している恐れがある。再使用しないこと。容器及び段ボールを廃棄する際には、必ず洗浄すること。また、つぶすか又は穴をあけるかして、再使用ができないようにする。容器及び洗浄液を廃棄する場合には、安全な方法で行うこと。

本剤及び／または“空”容器の残留物が、有害廃棄物の基準に適合しているかどうか廃棄の際に決定することは、廃棄物を作り出したものの責任である。

廃棄物の処理に関しては、一般社会、国又は地域の法令に従うこと。

適用法令

農薬取締法

消防法（第4種第2石油類）

船舶安全法（引火性液体類）

安衛法（有機則別表第6の2）

航空法（引火性液体）
